

120825 森の「AKB98」?

里山の道を歩いていると、人の気配を感じてか、沿道の草むらや林縁部からいろいろな虫が飛び立ちます。

中でも、黄色地に黒い目玉模様のある大きな「蛾」には驚かされます。
アゲハチョウよりもかなり大きな「蛾」がいきなり足元から飛び立つのですから...

そしてこの「蛾」こそ、今回の主役である「AKB98」なのです。

彼らは道ばたの草むらから飛び立って、近くの木や草にとまります。
でも...

あれほど派手で大きな「蛾」ですが、とまったと思われる場所をいくら探しても、なかなか見つからないのです。

その理由は...、1枚目の写真をご覧ください。
この写真の中央にいるのがわかるでしょうか...

ちなみに、この種の名前は「アケビコノハ」、略して「AKB98」です...

写真 : アケビコノハ

“枯れ葉”そっくりに擬態しています。
羽を広げると10cmくらい、結構大きいです。

写真 : ヒメコブオトシブミ

体長5~7mmと、小さなオトシブミです。
体全体は黒い光沢があり、触角と足は黄色いです。
葉の上部を横に切り、葉の先を折ってそこに産卵、その後、主脈を噛んで
やわらかくしてから丸めて巣を作ります。

写真 : ヒメコブオトシブミの巣

「おとしぶみ」とは、地面に落とした巣が“巻き手紙”のように見えること
からの命名ですが、オトシブミの中には作った巣を地面に落とさずに、その
まま木にぶら下げたままにしておく種もいます。
ちなみに本種は、ぶら下げたままにしておくタイプです。





